



企画展



小泉八雲と松江の石

— 八雲が惹かれた石の趣ま —

3月29日(日)まで開催中です。

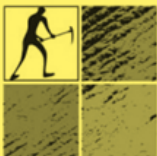
【小泉八雲が眺めた嫁ヶ島の風景】

望遠鏡を使えば鳥居がよく見える。鳥居の前には唐獅子が
二個すえられていて、一方のは頭が欠け損じている。
『知られぬ日本の面影』「神々の国の首都」(翻訳:森亮)



宍道湖、嫁ヶ島、袖師地蔵と石灰地蔵 (写真は昭和初期頃の風景)

小泉八雲は、「神々の国の首都」で宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島を「美しい小島」と書いています。
嫁ヶ島は、松江市嫁島町の約200m沖合に位置し、東西に長い約200mの平坦な島です。
島の中央に、弁財天の祠(竹生島神社)、石鳥居、来待石の石灯籠などの石造物があります。
小泉八雲の妻・小泉セツ(節子、慶応4<1868>年~昭和7<1932>年)は、大正3(1914)年の
回想録『思ひ出の記』で、出雲富士(伯耆大山)、大橋川、宍道湖と船の往来、嫁ヶ島について、
「ヘルンには先ずこの景色が気に入ったろうと思われます。」と回想しています。



モニュメント・ミュージアム

来待ストーン

MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE



年末年始の休館日

12月29日(月)~1月2日(金)



〒699-0404

島根県松江市宍道町東来待 1574-1 ☎ 0852-66-9050

休館日: 毎週火曜日(祝日の場合翌平日)

